

令和6(2024)年度 多文化共生基礎調査

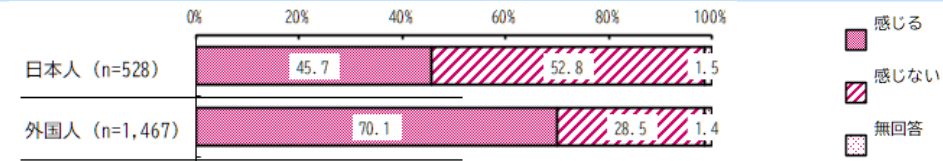
◆ 調査概要

| 区分 | 内容 |
|--------|--|
| 対象者 | 県内に居住する16歳以上の日本人及び外国人 |
| 対象市 | 静岡市、浜松市、富士市、磐田市、焼津市 計5市 |
| 外国人の国籍 | 2023年(令和5年)6月末現在の県内の上位8か国(ブラジル、フィリピン、ベトナム、中国、インドネシア、パルー、韓国、ネパール) |
| 抽出数 | 日本人1,000人 外国人4,000人(住民基本台帳から無作為抽出) |
| 調査方法 | 郵送配布・郵送回収(オンラインによる回収併用) |
| 調査票の種類 | 日本人:通常の日本語版を送付 外国人:各国の母国語版とやさしい日本語版の2部送付 |
| 調査時期 | 2024年(令和6年)7月~8月 |
| 有効回収 | 日本人:528件(52.8%) 外国人1,467件(36.7%) |

◆ 日本人調査と外国人調査の比較

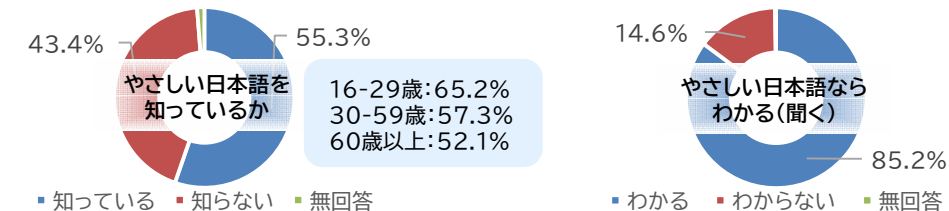
P102 地域で暮らす外国人/日本人に親しみを感ずるか

うち27.6%がやさしい日本語で回答



【日本人】外国人に親しみを感ずる割合 45.7%
 【外国人】日本人に // 70.1% } 24.4ポイントの差

P10 やさしい日本語の認知度(日本人) / P37 やさしい日本語がわかる外国人

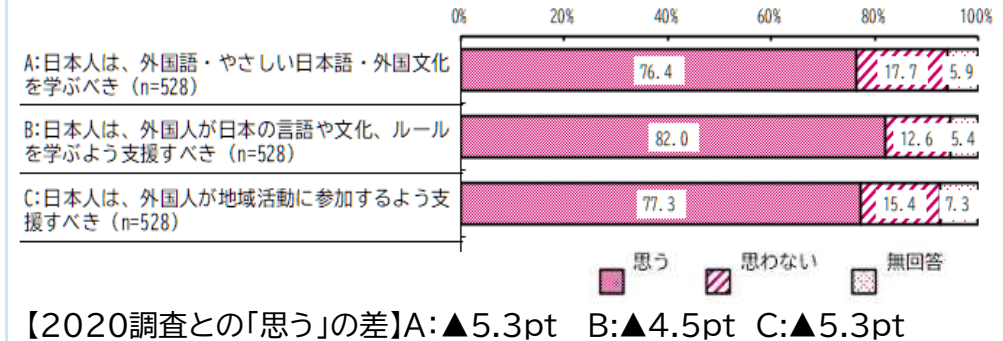


・2020調査から「知っている」は+3.3pt、若者の認知度が高い

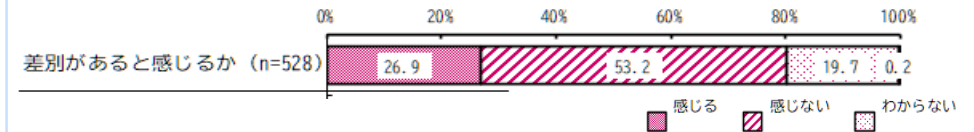
◆ 日本人調査結果

※設問の「PO」は報告書ページ数

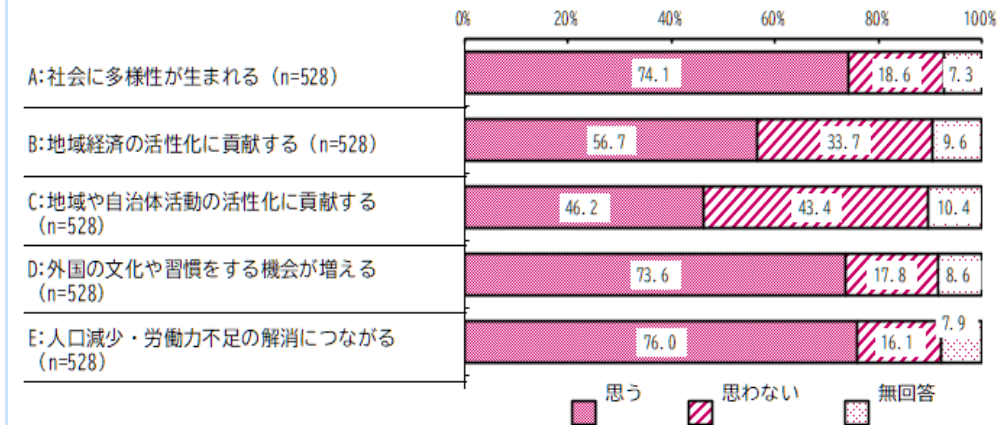
P12 多文化共生に関する意見



P13 まわりで外国人に対する差別があると感ずるか



P16 外国人住民が増加することによる影響

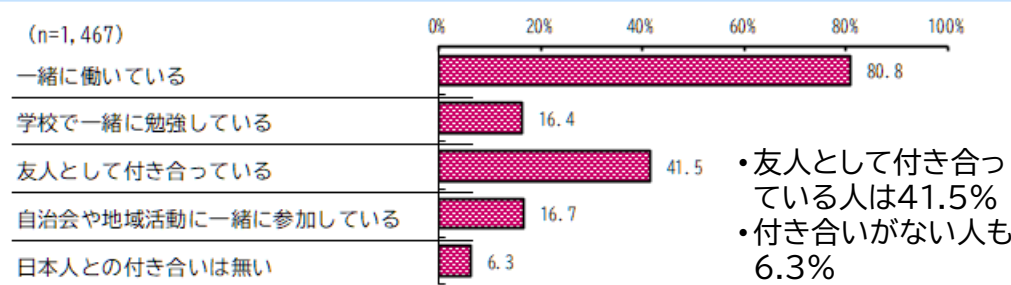


【2020調査との「思う」の差】A:▲1.3pt B:▲1.1pt C:▲4.7pt
D:▲3.2pt (Eは新規項目)

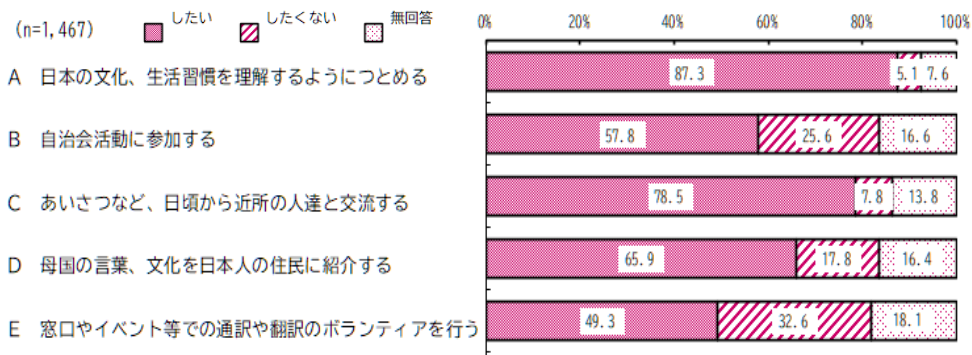
令和6(2024)年度 多文化共生基礎調査

◆ 外国人調査結果

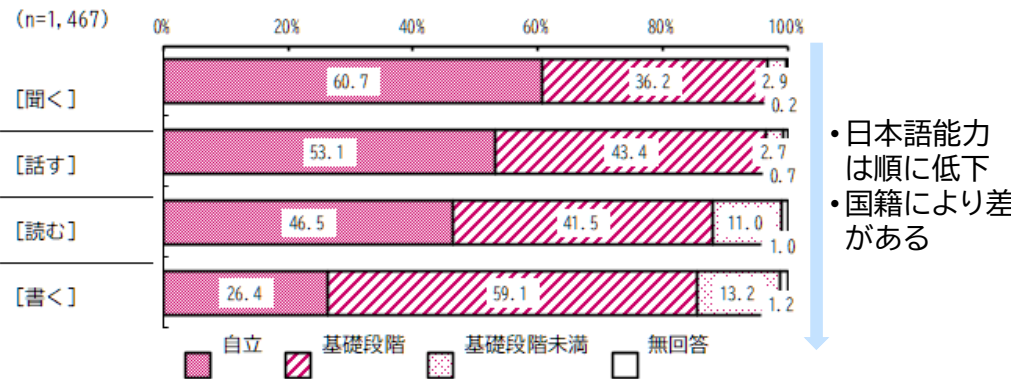
P28 日本人との付き合いはあるか



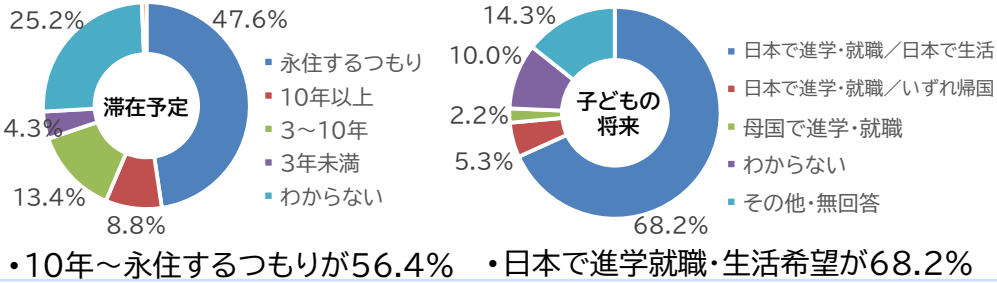
P36 相互理解を深めるためにしたいこと



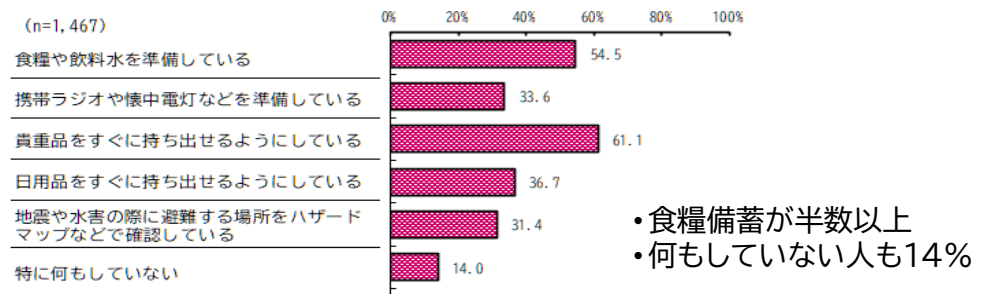
P47 日本語がどのくらいできるか



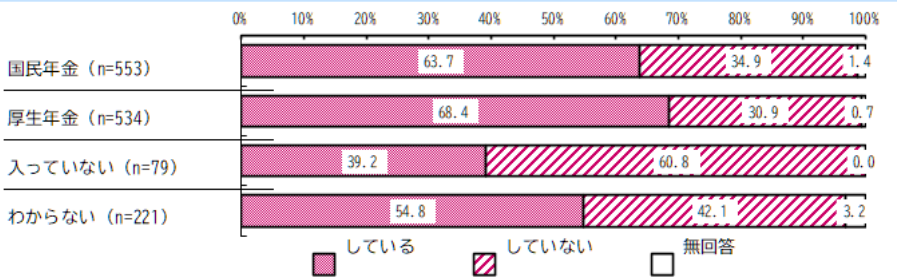
P24 日本への滞在予定年数/P82 子どもの将来をどう考えているか



P63 災害への備え



P71 年金の加入状況と老後の貯金をしているか



P97 外国人が静岡県で就職・就労するときの課題

| | 調査数 (人) | 県内企業の情報が少ない | 首都圏や母国などより給与が低い | 専門性を生かせる仕事がない | 求められる日本語能力が高い | 日本語で仕事をすることへの不安 | 日本で生活することへの不安 | 子供の教育環境への不安 | 母国の家族の理解が得られない | ビザの取得が困難 | その他 |
|-----------|---------|-------------|-----------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|-------------|----------------|----------|------|
| 技術 | 42 | 31.0 | 23.8 | 11.9 | 26.2 | 33.3 | 9.5 | 11.9 | 2.4 | 21.4 | 23.8 |
| 人文知識・国際業務 | 47 | 25.5 | 31.9 | 4.3 | 14.9 | 8.5 | 6.4 | 10.6 | - | 17.0 | 19.1 |
| 技能 | 73 | 43.8 | 30.1 | 6.8 | 19.2 | 31.5 | 15.1 | 4.1 | 5.5 | 12.3 | 23.3 |
| 留学 | 30 | 46.7 | 13.3 | 6.7 | 26.7 | 33.3 | 16.7 | 3.3 | 3.3 | 13.3 | 13.3 |

単位 (%)